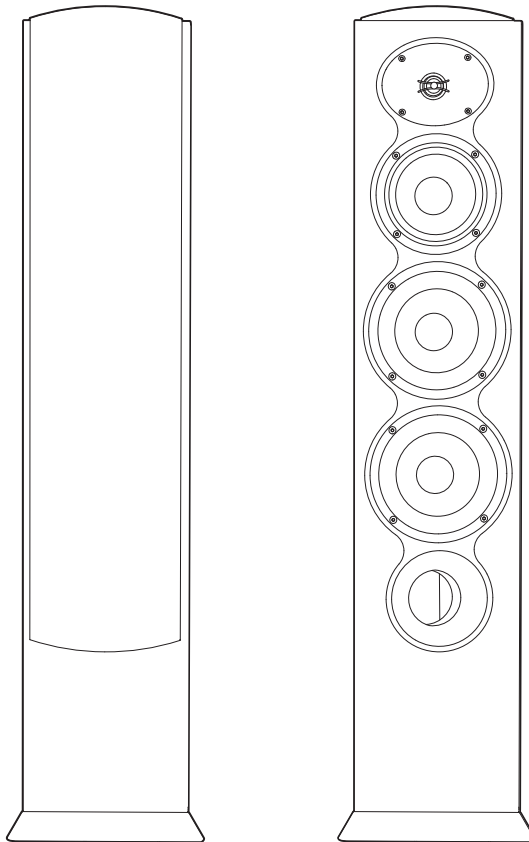


REVEL[®]


PERFORMA **Be**⁴™

F226Beスピーカー 取扱説明書



REVEL
by HARMAN

重要な安全上の注意

1. メーカーによって指定された付属品のみを使用してください。
2. メーカーによって指定された、または装置と同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用してください。カートを使用する場合、転倒によるけがを防止するためにカート/装置を移動させる際には注意してください。
3. 製品の修理は専門の修理業者に依頼してください。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれたまたは物が落ちた、または装置が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または装置を落とした場合のように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要です。

WEEE警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令 (Waste Electrical and Electronic Equipment)は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避する事です。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収

を促す事です。商品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、下の図のように車輪にバツ印の付いたゴミ箱で構成されています。



この商品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄してはいけません。あなたは電気・電子機器は必ず、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所に持っていき処分する責任があります。電気・電子機器廃棄物を処分する際に、隔離と適切な回収によって、天然資源の保存を一役買う事ができます。さらに、適切な電気・電子機器廃棄物のリサイクルによって、人間の健康や環境を守る事ができます。電気・電子廃棄物の処分、回収、回収場所に関する詳しい情報は、地域の役所、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店または製造者に問い合わせてください。

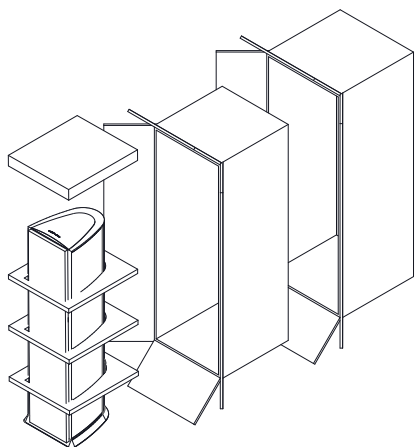
RoHSコンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011年6月8日の欧州議会及び理事会指令(2011/65/EU)に準拠しています。

目次

F226Beを箱から取り出す	3
REVEL PERFORMABeについて	4
主な特長	4
F226Beの概要	4
設置時の留意点	4
スピーカーの設置	5
スパイクの調節	5
リスニングルームの音響特性	5
音響処理素材	5
接続する	6
スピーカー端子	6
適切な極性を守る	6
スピーカーケーブル	6
最低ワイヤーゲージ	6
F226Be	6
シングルワイヤー接続	6
バイワイヤー接続	7
縦向きバイアンプ接続	7
横向きバイアンプ接続	7
パフォーマンスの最適化	8
ポートプラグ	8
スピーカーの音量	8
スピーカーのお手入れ	9
グリル	9
F226Be	9
キャビネット	9
仕様	9
限定的保証	9

F226Beを箱から取り出す

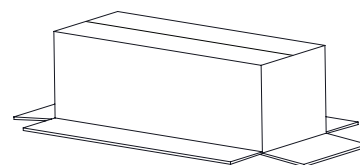
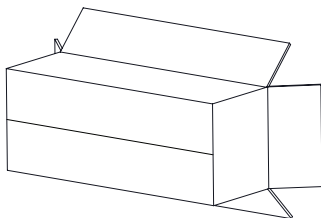
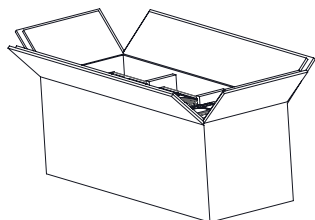


以下のイラストの順にF226Beを箱から出してください。

ステップ1

ステップ2

ステップ3

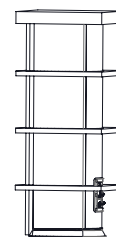
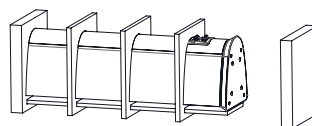
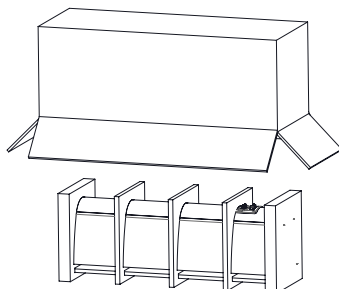
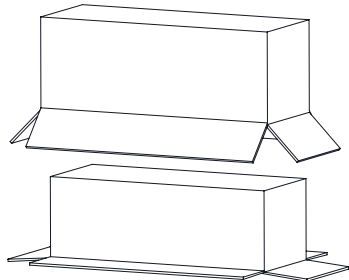


ステップ4

ステップ5

ステップ6

ステップ7

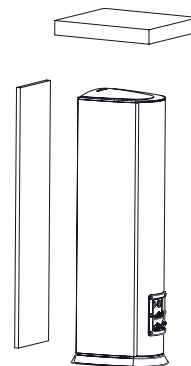
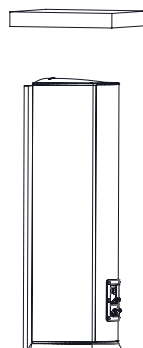
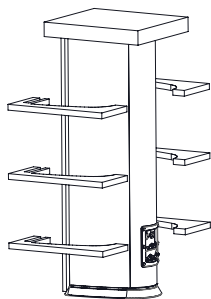


ステップ8

ステップ9

ステップ10

ステップ11



REVEL PERFORMABeについて

主な特長

- ベリリウム・ドームツイーター
- 第5世代アコースティックレンズ・ウェーブガイド
- ディープ・セラミック・コンポジット(DCC™)コーン・ミッドレンジおよびウーファー
- 最小限のダイナミック・コンプレッションによる広い帯域幅とダイナミック・レンジ
- フィルム・キャパシターおよびエアークォア・インダクターを備えた高次クロスオーバー・ネットワーク
- プレミアム・ハイグロス仕上げ:ブラック、ホワイト、ウォールナット、メタリックシルバー

Revel PerformaBeをお買い上げいただきありがとうございます。この真のフルレンジ・スピーカーは可聴周波数域にわたる広い周波数帯域、圧縮されていないダイナミックレンジ、低歪みの魅力的な組み合わせを実現しています。

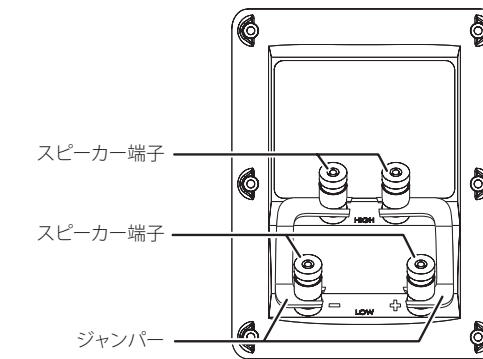
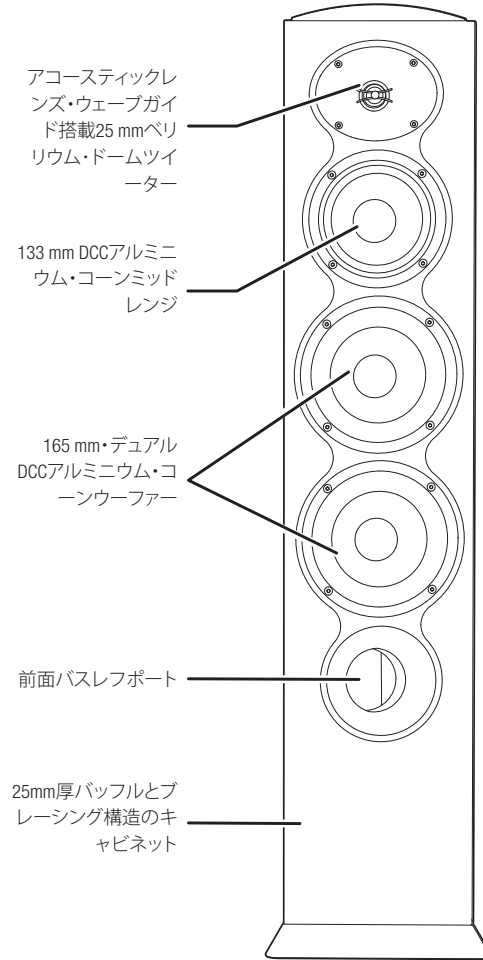
ツイータードームの素材はピュアベリリウム(Be)です。これは非常に希少性の高い金属で、理想的なツイーターを実現するために必要な多くの特性を備えた素材です。ベリリウムは極端に低質量(アルミニウム、チタニウム、ダイヤモンドの重量の約半分)で、最高でアルミニウムやチタニウムの4.5倍の硬度があり、40kHzまでの、優れた高域用の伸びと解像度を生み出します。また、高い熱伝導性により、信頼性も高く、ボイスコイルの冷却もしやすくなっています。この新しく開発されたツイーターは、PerformaBeクラスに近いどのスピーカーに対しても、明白な新しいスタンダードとなっています。ツイーター一体型第5世代アコースティック・レンズ・ウェーブガイドは画期的な数学的アプローチに基づいています。このアプローチにより、クロスオーバー領域でのミッドレンジ・スピーカードライバーにツイーターの音の広がりや正確にマッチしています。そのため、このスピーカーは極めて広いリスニング領域にわたって、とてもスムーズなサウンドになっています。部屋にいる、複数のリスナーに与えるリアルなイメージングに大いに貢献しています。さらに、並外れたウェーブガイドが実質的に、クロスオーバー・レンジを上回る周波数でツイーターの音の広がりを増強しています。Revel PerformaBeの低域と中域用のスピーカードライバーの特長は、新たに開発されたディープ・セラミック・コンポジット(DCC)コーン技術です。DCC処理したアルミニウム・コーンは、コーンの両側に深いセラミックの層を結合させるために、強いプラズマ放電を加えます。これが、コーンに未処理のアルミニウムをはるかに超えた堅牢性と制振性を与えます。DCCテクノロジーはコーンの共鳴を減少させ、理想的なピストン動作をもたらします。その恩恵は純度が高くディテールまで再現されたミッドレンジを一聴すれば明らかです。アルミニウム鋳造で作られたスピーカーフレームによって、多くのスピーカーで問題になる共振を徹底的に排除します。PerformaBeシリーズのバスレフポートは両サイドが優美な流線形にデザインされたフレア形状で、理想的な空気の流れを実現しています。これによりダイナミックコンプレッションとポートノイズが大幅に抑制され、低歪みの低域再生パフォーマンスが保証されます。

PerformaのキャビネットはフラッグシップモデルであるUltima2シリーズの多くの技術を引き継いでいます。ラウンドしたカーブでのみ構成されたキャビネットは従来型の角のあるものよりも高い剛性を誇ります。キャビネット・ウォールは素材の共鳴を抑える、切れ目のない木の層で成形されています。また、効果的に配置されたブレース(梁)によってキャビネットで発生する不要な音のカラーレションを巧みに制御します。この美しくモダンなキャビネットの仕上げはアメリカンウォールナットまたは高光沢のピアノブラック・ホワイト・シルバーから選択可能で、その工程はイタリアの家具メーカーにより開発・管理されたもので自動車の品質基準をも凌駕する非常に高品質なものです。スピーカーのグリルは完璧な三次元イメージングを維持するため、回折を最小限にするように設計されています。グリルの装着はマグネット方式なので、グリルを外した際にも常にクリーンで洗練された外観デザインを楽しむことが可能です。

Revel Performa Beのクロスオーバー・ネットワークは慎重に選択されたコンポーネントによって構成されており卓越したパフォーマンスに貢献しています。これらの高次クロスオーバー・ネットワークは歪みとダイナミック・コンプレッションを劇的に減少させ、非常に広いダイナミック・レンジにわたって同じクオリティを維持しクリアなサウンドを実現しています。これらの高精度なネットワークが音楽の持つ音色の精度を高め、それによりスピーカーの軸上にいるリスナーだけでなく部屋の中にいるすべてのリスナーが音楽の喜びを味わえる助けとなります。Revelが設計したスピーカー端子は重厚な金メッキ仕上げで、連結構造によってYラグを使用する際に確実な接続が可能です。フロアスタンディング型のF226Beには、2組のスピーカー端子が付いており、バイワイヤまたはバイアンプ接続が可能です。

我々のユニークな開発プロセスとして、専用のラボで行われる最新の音響心理学によって有用性が証明されているダブルブラインドリスニングテストがあります。全てのRevelのスピーカーは開発プロセスにおいて、必ずこのブラインドテストを競合モデルと行いその優位性が確かめられてからお客様へお届けされるのです。

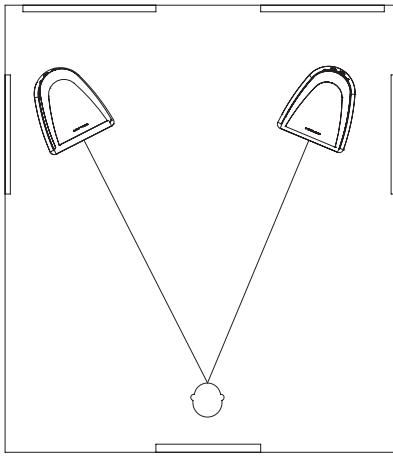
F226Beの概要



F226Beのスピーカープレート

設置時の留意点

スピーカーの音の忠実さは次の3つの要素によって決まります。スピーカーの精度、スピーカーの設置場所、そしてリスニングルームの音響特性です。特にスピーカーの設置場所とリスニングルームの音響特性は大きく影響しますので、実際の音を聴きながら調整しスピーカーの最善のパフォーマンスを引き出せるよう調整してください。



スピーカーの設置

以下は、全モデルに共通するスピーカー設置の際の重要な注意点です。

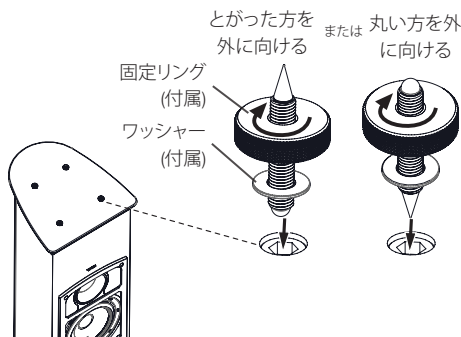
- スピーカーとリスニングポジションの間には何も置かないようにしてください。例えばスピーカーとリスニングポジションの間にコーヒータブルを置くと音が反射し、立体的な音像イメージや音質を損なわせる可能性があります。また、同様に大きな物をスピーカーの付近に置くと不要な反射の原因となります。
- 最高のステレオ音響効果を得るためには、この文章の一番上のイラストにあるように、両方のスピーカーがリスニングポジションから同じ距離になり、側壁からも同じ距離になるようにスピーカーを設置してください。
- よりはっきりとした音像イメージを再現するには、上のイラストのようにスピーカーがリスナーの方に向くよう設置してください。もしサウンドステージを広げたいときは、スピーカーの向きを少し外側方向に向けて調整し最適なポジションを探してください。
- スピーカーをリスニングルームの前や横の壁から離すほどステレオ音響効果と空間表現は改善されます。
- スピーカーをリスニングルームの隅または壁に近づけると、低音レベルが増大します。

スパイクの調節

F226Beには高さ調節可能なスパイクが4つ同梱されています。スパイクをスピーカの底面に取り付けることで硬い木の床やカーペット、タイルの上などにも安定して設置することができます。

スパイクの取付と調節:

1. 柔らかいタイルまたはカーペットを敷いた床にスピーカーの側面を下にして置く
2. スピーカー底面のねじ穴にスパイクを回しながら取り付けます。床材に合わせて先端のどがつた方がまるまった方のどちらかを選んで取り付けてください。



注: スパイクを付けたF226Beを移動させる場合は、床の上を引きずらないでください。

- スピーカーをカーペットの上に置く場合はスパイクのどがつた方を床面にして設置してください。
- スピーカーを木、タイル、または柔らかい床材の上に置く場合はスパイクの先端が丸い方を床面にして設置してください。傷つきやすい床の場合は別売のスパイク受け等を使用してください。

注: キャビネットから尖った端が突き出るようにスパイクを設置したい場合は、床面に傷が付くのを避けるため、スパイクの下にコイン、または同様の物を置く必要があります。

3. 固定リングを時計回りに回して、スパイクをキャビネットにしっかりと固定します。スピーカーが床の上に置かれた際に正しくバランスが取れているように固定リングが4つのスパイク全てに装着されているか確認してください。

警告: F226Beのようなフロアスタンディング型スピーカーは重心が高く、傾けたり、または不適切に置くと、倒れる原因になることがあります。倒れるのを防ぐには、本棚、ウォールユニットやその他家具などを固定するのと同じように、床や壁にスピーカーを固定してください。ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Inc.) は金具の適切な選択と設置、または不適切な設置や落下したスピーカーから生じる人体の損傷または製品のダメージに責任を負わないものとします。

リスニングルームの音響特性

リスニングルームはサウンド、特に低めの周波数帯域に大きく影響します。事実、リスニングルームの効果は約400Hz以下のサウンドに影響を及ぼす可能性があります。理想的には、部屋の共鳴を抑制するのに最適なアスペクト比でリスニングルームを作ることができるのですが、しかし実際は、大部分のリスニングルームは、スピーカーのパフォーマンスを高めるように設計されてはいません。

スピーカーとリスニングルームの関係は相互に複雑に影響しあっており、中でも以下の2つの要素が重要な影響を及ぼします。

- 部屋の壁・床や梁が、低域の特性での大きなピークとディップの原因となることがよくあります。
- 全ての部屋は、少なくともある程度は定在波(ルームモードまたは共鳴と呼ばれる)の影響を受けています。定在波は、大きな低域の特性の異常を生み出します。低域のラウドネスは同じ部屋でも場所によって、+または-12dBかそれ以上異なる可能性があります。

残念ながら、これら2つの要因の両方に対応する、シンプルな解決策はありません。片方、または両方の要因を分析しているコンピューター・ソフトウェア・プログラムでさえ、適切なリスニングポジションやスピーカーの位置を計算することはできません。

多くの場合、スピーカーの適切な位置の設置と適切なリスニングポジションの2つを同時に実現することで低めの周波数帯域のパフォーマンスが理想に近づきます。優れたパフォーマンスと不完全なパフォーマンスの違いはこの2点のわずかな調整で生まれますのでぜひ時間をかけて行ってください。

音響処理素材

Revel PerformaBeシリーズの特長は高次フィルターです。これは、スピーカーの軸上および軸外のレスポンスを最適化します。さらに、過剰に「ライブ」な部屋(音響が反射する壁や床の部屋)で起こる音の劣化を抑えます。多くの方は、この反射を減少させるため、部屋の主な反射ポイントに音響処理素材を敷きます。最も重要な位置は、正面の壁と両側の横の壁の最初に反射するポイントです。もしくは背面の壁の最初の反射ポイントに広帯域音響吸収・拡散材を置くことです。

注: 吸収材の選択肢は数多くあります。しかし、安価なファイバーグラス製のものは優秀です。スピーカーのスペクトル応答が変わるのを防ぐには、最低10センチの厚さの吸収材を使用することが重要です。成形された発泡体を使用する場合、その吸収材は手を加えていない発泡体よりも効率が悪いので、最低20センチの厚さが必要です。

リスナーの目と耳は同一面にあるので、「ミラーメソッド」が最初の反射ポイントの正確な決定要因です。このメソッドは両側の側壁、背面壁、正面の壁、そして天井であっても、反射ポイントを決定するのに使用することができます。両方の側壁に音響処理素材を貼るのが最も重要で、その次に天井、正面の壁、背面の壁の順に効果が期待できます。

ミラーメソッドを使用して反射ポイントを決定するには:

1. いったんスピーカーを置いたら、通常のリスニング位置に座って他の人に、リスニングルームの壁に沿って吸収材をスライドさせるようにお願いしてください。
2. 通常のリスニング位置から、ミラーにどちらかのスピーカーが見える位置をメモします。必ず、各部屋の壁で両方のスピーカーが反射する位置を探してください。そこが、音響処理素材が必要な反射ポイントです。

音響処理素材が使えない場合は、反射ポイントにカーペットをつるせば、過剰な「ライブ」ルームの音の劣化を減少させるのに役立ちます。スピーカーと通常のリスニング位置との間の床面にカーペットを敷いたり、最初の反射ポイントに本箱のようなでこぼこの面になった家具を置くのも、強い反射音を抑えるのに役立ちます。

接続する

警告: 接続する際は必ずすべての機器の電源が入っていない状態でおこなってください。

スピーカー端子

パワーアンプと本機のスピーカー端子を接続します。バナナプラグ、Yラグ等を使用するとより確実に接続することができます。

適切な極性を守る

アンプの陽電極(+)端子を対応するスピーカーの陽電極(+)端子に接続してください。アンプの負電極(-)端子を対応するスピーカーの負電極(-)端子に接続してください。接続時に、極性を逆に(すなわち、「+」を「-」にまたは「-」を「+」に接続しない)しないでください。これは、貧弱なステレオ・イメージングと低音域レスポンスの低下の原因になります。

スピーカーケーブル

ケーブルは、インピーダンスの合計が 0.07Ω またはそれより小さい、高品質のスピーカー・ケーブルを使用してください。使用する適切なケーブルの太さを決定するには、次の表をご参照ください。

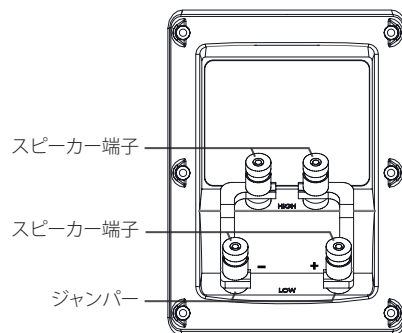
最低ワイヤーゲージ

最大ワイヤー長さ(フィート)	最大ワイヤー長さ(メートル)	最小ワイヤーゲージ(AWG)
87未満	27未満	6
69未満	21未満	7
58未満	18未満	8
43未満	13未満	9
34未満	10未満	10
27未満	8未満	11
22未満	7未満	12
17未満	5未満	13
14未満	4未満	14
11未満	3.5未満	15
9未満	3未満	16
7未満	2未満	17
5未満	1.5未満	18

注: 0.07Ω を超える高インピーダンス(各ワイヤーを通すための)だと、スピーカーのフィルターネットワークが誤った終端処理をして、サウンド・クオリティーが相当劣化することになります。

F226Be

F226Beには、高域用のスピーカー端子が1組低域のスピーカー端子が1組付いています。工場出荷時は、1組のジャンパー(下図をご覧ください)が接続されています。2組のスピーカー端子はシングルワイヤー、バイワイヤー、またはバイアンプ接続用に設定することができます。詳細については、このページの手順と、10ページを通してお読みください。



F226Beスピーカーに接続する前に、以下のことにご注意ください:

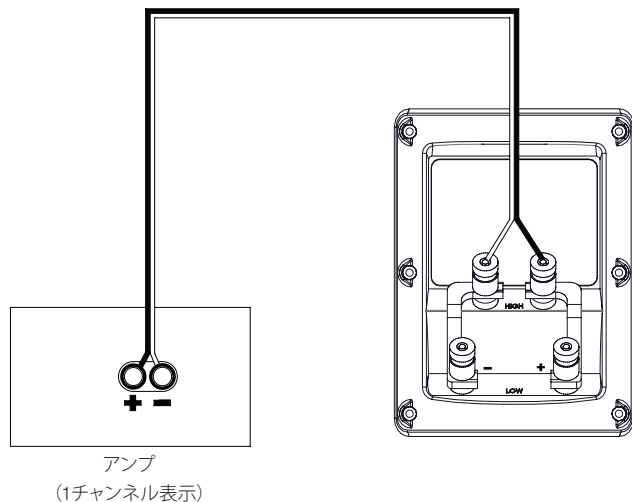
- 標準的な接続方法では、シングル・スピーカー・ケーブルを使用します。F226Beは2組のスピーカー端子を備えており、バイワイヤリングまたはバイアンプ接続が可能です。Revelはこれら以外の接続方法を推奨してはませんが、お望みなら追加の接続オプションも利用可能です。このスピーカーの設計は非常に優れているので、標準的な接続方法を使って最適なパフォーマンスを実現することができます。
- 縦向きバイアンプ接続(以下をご覧ください)は、同一のパワーアンプで行う必要があります。横向きバイアンプ接続(以下をご覧ください)は同じゲイン係数の同一、または異なるパワーアンプで行うことができます。
- バイアンプ接続をする場合、両方のパワーアンプで、つないだプリアンプから同一のスピーカー信号を受信する必要があります。つないだプリアンプで、出力チャンネルごとに2つのコネクタが使用できる場合は、プリアンプの同じ出力チャンネル用のセパレートコネクタに各パワーアンプを接続することができます。つないだプリアンプで、出力チャンネルごとに2つのコネクタが使用できない場合は、「Y」アダプターが必要です。
- どの接続方法を選択しても、左右のスピーカー用に使用するスピーカーケーブルは常に同じ長さにする必要があります。
- F226Beをお持ちのパワーアンプに接続する前に、パワーアンプ部品の適合性についての情報など、必要な場合はRevelの公認販売店にお問い合わせください。
- 全ての付属したオーディオ部品があることを取扱説明書で再確認し、正しい接続手順を理解してください。

注: Revel F226Beをバイアンプ接続する際は、電子クロスオーバー・ネットワークを使用しないでください。相当なサウンド・クオリティーの劣化の原因になります。

シングルワイヤー接続

注: スピーカー端子間のジャンパーを取り外さないでください。

シングルワイヤー接続が最も一般的です。これは、下に示されているように、F226Beのスピーカー端子1組とパワーアンプ出力チャンネル1系統を接続します。



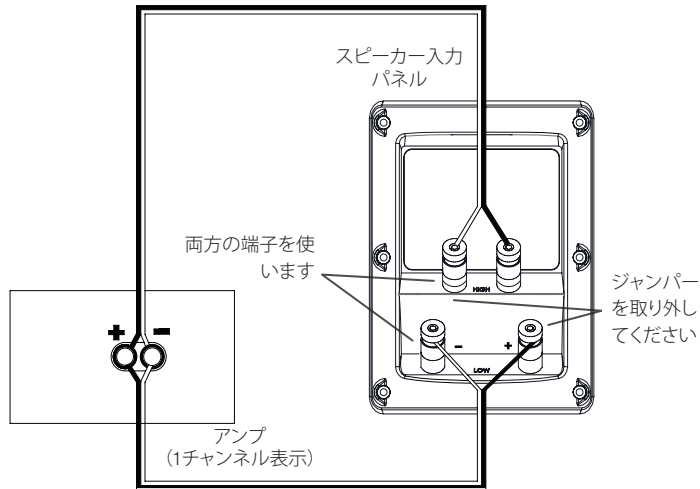
シングルワイヤー接続を行うには:

1. お好きなF226Beのスピーカー端子1組に1本のスピーカーケーブルを接続します。(高域用の「高」のスピーカー端子を推奨します。)次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
2. ステップ1を繰り返し、パワーアンプの残りの出力チャンネルに、2台目のF226Beを接続します。

バイワイヤー接続

警告:バイワイヤー接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。ジャンパーを外さずバイワイヤー接続して使用すると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

バイワイヤー接続は2組のスピーカーケーブルを使用し、以下に示されているように、シングル・パワーアンプ出力チャンネルに2組のF226Beのスピーカー端子を接続します。



1. ジャンパーを取り外します。
2. 高域用のF226Beのスピーカー端子1組に1本のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
3. 低域のF226Beのスピーカー端子1組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端を、ステップ2で接続した同一のパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
4. ステップ1、2、3を繰り返し、パワーアンプの残りの出力チャンネルに、2台目のF226Beを接続します。

縦向きバイアンプ接続

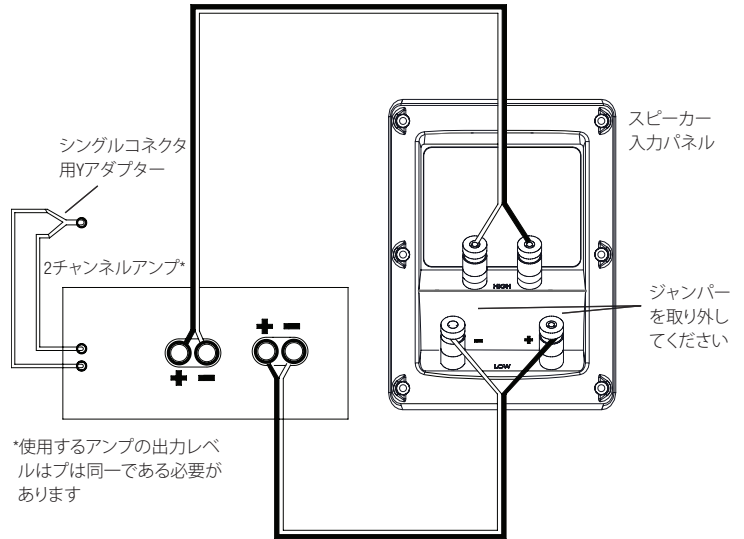
警告:バイアンプ接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。これを怠ると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

縦向きバイアンプ接続は、2組のF226Beのスピーカー端子とパワーアンプの2組のセパレート出力チャンネル間で行います。それぞれのF226Beスピーカーは別個のパワーアンプに接続されており、それが時々音響パフォーマンスを増幅させる可能性があります。2台のスピーカー用のパワーアンプは同一でなければなりません。

注:

- 縦向きバイアンプ接続は各スピーカー用に1台ずつ、2台の同一機種のパワーアンプを使用して行う必要があります。
- 縦向きバイアンプ接続をする場合、プリアンプからそれぞれのパワーアンプに完全に同一の信号が送られる必要があります。接続するプリアンプに2つ出力端子がない場合は、「Y」アダプターが必要です。

プリアンプ(1チャンネル表示)



1. ジャンパーを取り外します。
2. 高域用のF226Beのスピーカー端子1組に1本のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
3. 低域のF226Beのスピーカー端子1組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう片方の端を、高域用のスピーカー端子に接続した同一のパワーアンプの別の出力チャンネルに接続します。
4. 両方のアンプチャンネルのスピーカーをシングル・プリアンプ・チャンネルの出力に接続します。プリアンプにチャンネル用のコネクタが1つしかない場合、「Y」アダプターを使用します。
5. ステップ1、2、3を繰り返し、別個の同一機種プリアンプに、2台目のF226Beを接続します。ステップ4を繰り返し、プリアンプのその他のチャンネルに、2台目のアンプを接続します。

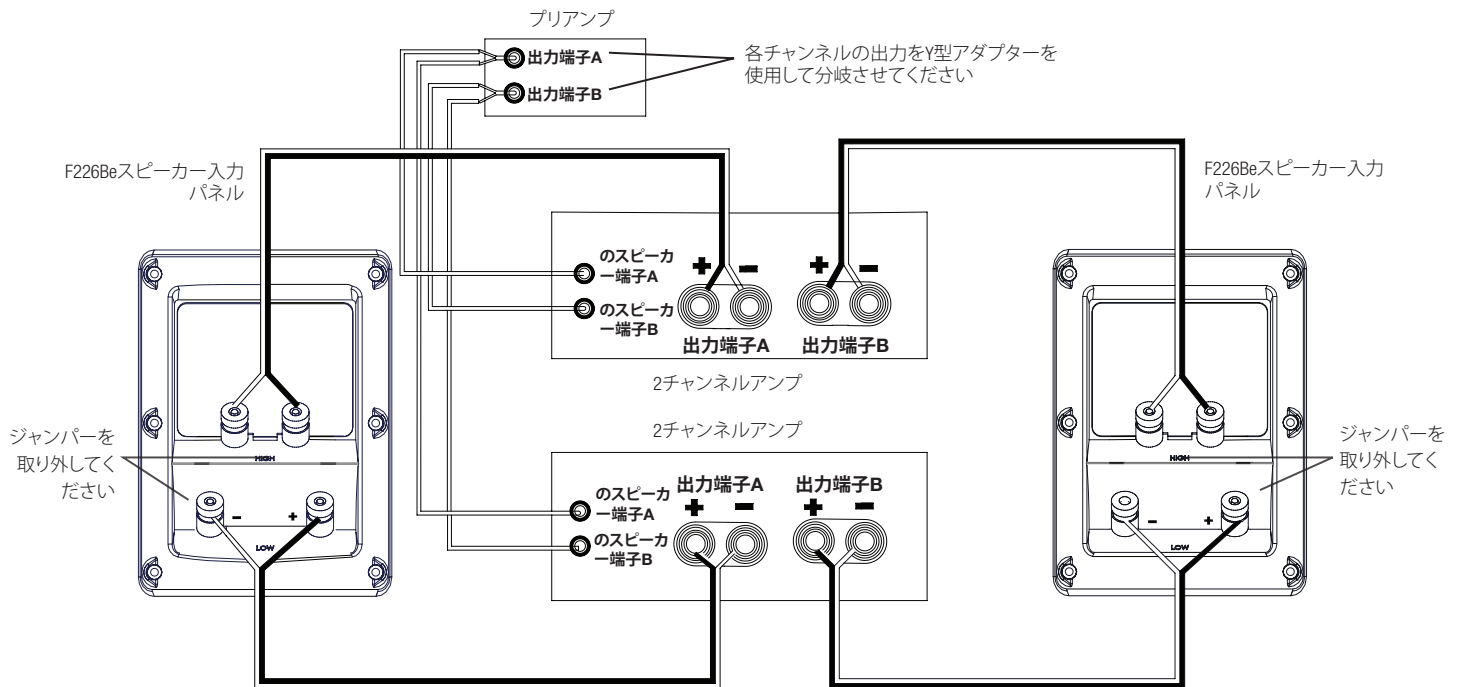
横向きバイアンプ接続

警告:バイアンプ接続をする前に、ジャンパーを取り外してください。これを怠ると、パワーアンプの損傷の原因になることがあります。

2台のパワーアンプは同一機種、または同一機種でない可能性もありますが、ゲイン係数は同一にする必要があります。ゲイン係数が同一でない場合、アンプのうち最低1台はのスピーカーレベルを調整する機能を備えている必要があります。不明な点がある場合は、Revel公認販売店にお問い合わせください。

横向きバイアンプ接続は、2組のF226Beのスピーカー端子とセパレート・パワーアンプの2組の異なる出力チャンネル間で行います。F226Beの高域用スピーカー端子1組を1台のパワーアンプに接続します。また、F226Beの低域のスピーカー端子1組はもう1台のパワーアンプに接続します。

注:横向きバイアンプ接続をする場合、両方のパワーアンプで、つないだプリアンプから同一のスピーカー信号を受信する必要があります。接続するプリアンプに2つ出力端子がない場合は、「Y」アダプターが必要です。



- ジャンパーを取り外します
- 高域用のF226Beのスピーカー端子1組に1本のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端をお好みのパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
- 低域のF226Beのスピーカー端子1組に別のスピーカーケーブルを接続します。次に、スピーカーケーブルのもう一方の端を、別のパワーアンプにあるお好きなパワーアンプ出力チャンネルに接続してください。
- ステップ2を繰り返して、2台目のF226Beの高域用のスピーカー端子1組をステップ2で接続したパワーアンプの他のチャンネルに接続します。
- ステップ3を繰り返して、3基目のF226Beの低域のスピーカー端子1組をステップ2で接続したパワーアンプの他のチャンネルに接続します。
- 高域用アンプの左右のチャンネルのスピーカーをプリアンプの左右出力に接続します。低域のアンプの左右のスピーカーにもこの手順を繰り返してください。プリアンプに各チャンネル用のコネクタが1つしかない場合、「Y」アダプターを使用します。

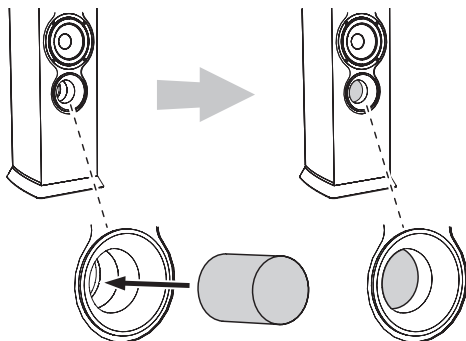
パフォーマンスの最適化

ポートプラグ

Revel PerformaBeは、設置環境に合わせてスピーカーの低域のパフォーマンスの調節に使用できる、1組の発泡体ポートプラグを備えています。

スピーカーがエンターテインメント・センターまたはシェルビング・ユニットに組み込まれている、あるいは壁かその他の大きい物体から約60cmより近い位置にスピーカーが置かれている場合、スピーカーのポート開口部にポートプラグを挿入すると強すぎるバス出力を抑制することができます。このバス出力は、大きな低音エネルギーの反射面にスピーカーが近い時に発生する可能性があります。

ポートプラグをスピーカーのポートチューブの開口部に奥まで十分に挿入します。これにより、プラグの端がポートチューブのフレア部分内部に収まります。



警告:ポートプラグをポートチューブの奥に差し込みすぎないように気をつけてください。スピーカー内部に落ちてしまいます。

スピーカーの音量

Revel PerformaBeシリーズ・スピーカーに採用された高次フィルターは、帯域外周波数によるスピーカードライバーの損傷のリスクを減少させる、急峻なカットオフを搭載しています。慎重に選別されたスピーカードライバーとフィルター・ネットワークを組み合わせます。することで、PerformaBeが厳しい再生状況下においても使用することを可能にしています。

しかし、連続再生に関して言えば、全てのスピーカーには限界があります。この限界を超えてしまうのを避けるために、サウンドの歪み、または負担となる音量での再生をしないでください。

警告:スピーカーのサウンドが明瞭かつ正確でない場合は、損傷を避けるため、ただちに音量を下げてください。歪んで聞こえる場合は、音量を絞ってください!

いったんスピーカーを設置・接続したら、最初は以下のステップに従って、新しいPerformaBeスピーカーの電源を入れます:

- 聞き慣れた音楽または映画音源の再生を始めます。
- 通常のリスニング位置で聴き、ボリュームを快適なレベルまで上げます。
- 総合的にベストな音のバランス、ステレオ・イメージの精度、リスニングルームの解放感を再現するため、スピーカーの配置を調整してみてください。スピーカーの設置についてさらに情報を得るには、5ページにある設置の注意点のセクションをご参照ください。

スピーカーのお手入れ

グリル

Revel PerformaBeスピーカーは磁気接着方式のグリルを特長としており、スピーカーパッドから飛び出す取付金具を排除しているので、グリルを外してスピーカーを使用する際にもエレガントな外観です。

F226Be

F226Beスピーカーのグリルを取り付ける場合、「TOP」のマーク(グリルフレームの背面に型押しされている)がスピーカー・キャビネットの上方向になるようにします。

キャビネット

キャビネットの突き板仕上げや光沢仕上げには定期的なメンテナンスが必要ありません。ほこり、指紋、または他の汚れが付いたキャビネットの表面は柔らかい布で掃除することができます。マイクロファイバーの布と高品質カーワックスの使用が望ましいです。スピーカードライバーに触れないように気をつけてください。

- グリルを掃除するには、吸引力を1番低くセットした電気掃除機に柔らかい毛先の掃除用アタッチメントを使用して丁寧に吸引してください。

警告:キャビネットを掃除するには、損傷を防ぐため、スチールウール製の布または金属研磨剤は使用しないでください。スピーカードライバーの損傷のリスクを防ぐため、直接、キャビネットに家具の研磨剤を塗布しないでください。

警告:ベリリウム・ツイーターについての警告

ベリリウムのかすは有害物質です。通常の状況では、Revel PerformaBeベリリウムドームにはいかなるかすも発生せず、破損しない限りは100%安全です。ツイータードームは、アコースティックレンズとウェーブガイドで保護されています。ウェーブガイドが無傷である限り、心配はいりません。万一、何らかの形でドームが損傷したら、プラスチックの粘着テープでツイーターを覆い、カスタマーサポート連絡して次の指示を受けてください。ツイータードームが損傷している場合、スピーカーで音楽を再生しないでください。

スピーカーの寿命が切れたら、ゴミ処分場、または焼却炉に廃棄しないでください。スピーカーは適切なりサイクルセンター、または危険廃棄物の廃棄場を持っていただく。適切な処分の詳細情報については、カスタマーサポートにご連絡ください。

仕様

型:	165mm 3ウェイ・デュアル・フロアスタンディング型スピーカー
低域のスピーカードライバー	キャストフレーム付き、165mmディープ・セラミック・コンポジット・アルミニウムコーン2
ミッドレンジスピーカードライバー:	キャストフレーム付き、5-130mmディープ・セラミック・コンポジット・アルミニウムコーン
高域用スピーカードライバー:	アコースティックレンズ・ウェーブガイド付き、25mmベリリウムドーム
推奨アンプ出力レンジ:	50~200W
周波数特性:	44Hz~40kHz(-6dB)
低域の可変範囲:	38Hz(-10dB);44Hz(-6dB);50Hz(-3dB)
公称インピーダンス:	8Ω
出力音圧レベル(2.83V/1m):	90dB
クロスオーバー周波数:	260Hz;2.1kHz
エンクロージャータイプ:	フロントマウント・ポート経由のバス・リフレックス
のスピーカー:	ジャンパー付き、デュアル金メッキ・バインディング・ポスト
選べる仕上げ:	ハイグロス・ピアノブラック、ホワイト、メタリック、ウォールナット
寸法 (幅x奥行x高さ、グリルを含む):	9.8x13.7x41.3インチ (249x347x1050mm)
キャビネット重量:	58.0ポンド (26.4Kg)
グリル重量:	0.8ポンド (0.4Kg)

限定的保証

Revel(レベル)スピーカーに欠陥がある場合は保証されます。保証書の有効期限はこの製品を購入した国の法律によります。お住まいの地域のRevel(レベル)販売店で保証書の有効期限と保証範囲を知ることができます。

For more information please visit: REVELSPEAKERS.COM

Please visit REVELSPEAKERS.COM for additional language support on the user manual.

Veillez visiter REVELSPEAKERS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт REVELSPEAKERS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、REVELSPEAKERS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 REVELSPEAKERS.COM에서 확인하십시오

请访问 REVELSPEAKERS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita REVELSPEAKERS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter REVELSPEAKERS.COM.

Торговая марка:	Revel
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стамфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы:	5 лет Товар не подлежит обязательной сертификации
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-МУ0000000, где «М» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «У» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件 (不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。
X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPuP)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。



ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Incorporated)
8500 バルボア・ブルーバード、ノースリッジ、カリフォルニア91329 米国

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

RevelおよびRevelロゴは、ハーマン・インターナショナル株式会社(HARMAN International, Incorporated)の商標で、米国および/またはその他の国々で登録されています。

無断複写・転載を禁じます。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号にお電話ください: (516) 594-0300 or (888) 691-4171。テクニカルサポートについては、問い合わせの詳細を次のアドレスに送信してください: csupport@harman.com.

CE パートNo. 950-0571-001

REVEL[®]
by HARMAN
www.revelspeakers.com